

# 聖火リレー

昭和 39 年 9 月 28 日

撮影：木村守男氏

奈良今昔写真 WEB 蔵

恩師が寫す写真、微笑み返す走者 (放映された写真)



梅谷口

左に折れて引き継ぎ点へ



写真提供：土屋忠博氏  
(放映された写真)

## 『1964 年東京オリンピック 聖火リレー 奈良』 奈良を 49 区間 53.4 km の最終ランナーを紹介 平成 30 年 BS の TV で放送

1964 年東京オリンピックの聖火リレーは日本全国を 4 コースに分かれて 6,755 km (4,374 区間)、参加者総数 100,713 人にて行われた。昭和 39 年 (1964) 9 月 27 日和歌山県から奈良に入り 49 区間 53.4 km を走り翌 28 日京都府へと引き継がれた。

この番組では、奈良県の聖火リレー最終区間を走った男性の物語。

奈良県の聖火リレー最終区間雨の沿道には全く人がいない。そんな寂しいリレーの先頭を走ったランナーが、道中で一人の男性を発見。男性はあるものを持って聖火リレーを待ち構えていた。それは学校の恩師がカメラを持って待っていてくれたのだ。

走者は毎日ビール瓶をトーチ代わりに練習したとのこと。

当日、トーチに火が付いた時には、その瞬間トーチに命が宿る思いがした。

火が付いた瞬間

トーチに命が宿る思い



奈良区間最後の走者



10 時 20 分整然と

県境に到着



IOC の関係により放送画像は掲載していません